



広島豪雨災害 梅林学区 犠牲者追悼献花会 主催：梅林学区自主防災会連合会

於：梅林小学校：令和2年（2020年）8月20日（木）9:00～16:30

平成26年（2014年）8月20日、広島豪雨災害が発災し、77名の方が犠牲となりました。梅林学区では68名という未曾有の惨事となりました。発災6年目を迎えた今年は新型コロナウイルスの感染予防を鑑み、開催中止の声も上がりましたが、種々検討の結果、犠牲者の追悼、災害の伝承（語り継ぎ）、防災の啓発の観点から式典を中止し、「追悼献花会」として開催することと致しました。



午前8時40分より、自主防災会連合会役員にて黙祷、献花を行い、午前9時よりご遺族を始め、県知事、松井広島市長、杉山安佐南区長、関係各所、ご友人、ご近所の方々により午後4時30分の閉会まで多くの献花が続きました。また、猛暑での追悼献花に303 溪流堰堤工事を担当されている広電建設（株）様よりミスト発生機を数台無償で貸して頂きました。ありがとうございました。

毎年自然災害の発生は後を絶たず、多くの犠牲者が出ています。梅林地区では砂防堰堤建設工事は完成し、雨水渠や避難道路などの工事も進んでいますが、いつ他の災害が発生するとも分からない状況です。災害を経験した者として、災害の怖さ・つらさを語り継ぎ、防災を啓発してまいりましょう。

8.20 広島土砂災害 供養祭 八敷第8公園 令和2年8月20日（木）

広島土砂災害から6年目をコロナ禍の中で迎えました。昼間は焼けつくような暑さでしたが夕方頃には暑さも和らぎました。八敷第8公園では式典は行わず午後6時30分から密を避けて献灯を行う方式を採りました。松井市長・杉山区長等にも参列を頂き、約140名の方が集い、災害で亡くなられた人々を偲びました。



梅林小学校秋季大運動会 令和2年9月26日(土)

第40回運動会は新型コロナウイルス感染症対策のため、生徒を1,3,5年と2,4,6年に分け、前半・後半の二部構成で、「心をついに笑顔の輪を広げよう」のテーマで行われました。

前日の雨も上がり、秋風が心地よい好天の中、今年初めて梅林小学校で運動会を迎える1年生、小学校最後になるの6年生の演技や競技をはじめ、生徒はそれぞれが運動会を精一杯楽しんだことは勿論のこと、保護者の皆さんもコロナ禍での運動会が開催されたことに喜びを感じられていました。

また、今回、学年保護者観覧スペースが設置され、わが子や孫をしっかりと観たい、写真に撮りたい保護者にとっては大いに好評でありました。

来年の運動会は、岩本校長先生が語られていたように新型コロナウイルス感染症の心配もなく皆でそろって賑やかに開催できることを願っています。



共同街頭募金 令和2年10月1日(木)

西村ジョイホームセンター八木店及びゆめマート八木店において、民生委員、児童委員、社協の役員が募金活動を行いました。

活動する方はのぼり旗を立てて募金箱を持ち、買い物に来られた皆さん方に声掛けをしました。

この活動は民間団体の支援・地域の様々な福祉活動を支援しています。今後とも皆様方のご協力をお願いします。

当日の募金金額は42,685円でした。ご協力ありがとうございました。



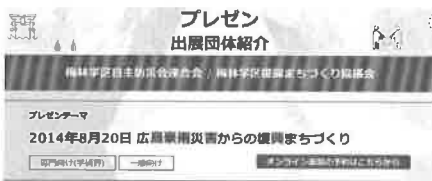
ぼうさいこくたい 2020 HIROSHIMA (防災推進国民大会)

～『みんなで防災』助け合いをひろげんさい～

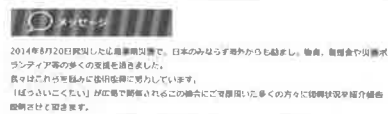
令和 2 年 (2020 年) 10 月 3 日 (土)、ぼうさいこくたい 2020 HIROSHIMA (防災推進国民大会) が開催されました。「ぼうさいこくたい」は、内閣府などの主催で、今年で 5 回目、日本で最大級の防災イベントです。今年も新型コロナウイルス感染症予防の観点から、インターネットでの開催になりました。内容は、「プレゼン」「セッション」「ワークショップ」の 3 部に分かれ、行政や各種団体、企業など 124 団体が参加しました。

■プレゼン：梅林学区自主防災会連合会・梅林学区復興まちづくり協議会

8.20 広島豪雨災害発災時、日本のみならず海外からも励まし、物資、義援金や災害ボランティア等の多くの支援を頂きました。梅林学区自主防災会連合会・梅林学区復興まちづくり協議会では、この機会にご支援を頂いた多くの方々にお礼を兼ねて復興状況を紹介・報告しようとして参加することにしました。ホームページでは、「2014 年 8 月 20 日 広島豪雨災害からの



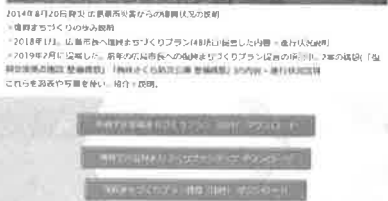
復興まちづくり」と題し、7分28秒の被災時や復旧復興の流れの紹介ムービー、災害時やプラン書の写真、梅林学区復興まちづくりプラン書・マップや構想書を閲覧・ダウンロードできるようにしました。



■セッション：広島市防災セミナー 語り継ぐ防災 ～教訓を生かす～

第 1 部 災害伝承と防災教育 ～大切な命を守るために～

13:00～14:15 広島市と RCC ラジオが共催でトークセッションをインターネットではライブ配信で、RCC ラジオでは同時放送されました。パネラーは、東京大学大学院の片田教授、梅林学区自主防災会連合会事務局の松井憲さん他広島市内在住の防災リーダー 2 人が出演、司会は RCC 本名アナウンサー、アシスタントは気象予報士で防災士の岸さんでした。松井憲さんは八木三丁目にある復興交流館モンドラゴンの事務局長で、災害を機に「防災士」資格を取得、広島市地域防災リーダー、広島県自主防災アドバイザー、2020 年 1 月には神戸で開催された「災害語り継ぎ」の世界会議で講演されました。トークセッションは、平成 11 年 (1999 年) 6 月に発災した「6.29 豪雨災害」の伝承・防災活動と、8.20 広島豪雨災害のその後と安佐北区落合小学校での防災教育について話され、今後の防災の取り組みとして「梅林学区復興まちづくりプラン」にある復興交流施設での伝承 (語り継ぎ)・防災教育事業などが話されました。



元旦祭 宇那木神社 令和3年1月1日(木)

年の初めに国の安寧と地域の発展を願う祭事ですが、今年はコロナ禍という事もあって、元旦に集中することもなく、例年のような人の行列は見られず、分散での参拝をされているようでした。

お世話する人の話では、今年への期待度もあり、参拝者は例年より少し少ない程度で、コロナウイルスの心配がなくなり、これ迄の日常生活が早く戻って来ることを願ってお祈りされていました。

**とんど祭り****・八木上楽地** 令和3年1月10日(日)

一年の無病息災を願い、公園予定地での第2回目のとんど祭りを行いました。午前10時に点火。

火柱が一気に冬空に舞い上がります。爆竹によって悪魔を追い払い、火の勢いを盛んにして、コロナ退散を願います。とんどの火で体をあぶれば健康を取り戻し、長生きできる勇気を与えてくれます。強烈なエネルギーで、一日も早く世の中を平安な笑顔の絶えない街に戻して欲しい。子供たちの笑顔の先に希望が見えたような気がしました。

・宇那木神社 令和3年1月14日(木)

門松・しめ飾り・神矢・お札などを浄火して天に戻す祭事で、今年はコロナ禍で開催するか悩みましたが、アルコール消毒やマスクの徹底、密を避けるなどの対策をして実施されました。神事後、午後4時45分頃から小学校5年生、町内会長による点火が行われ、100人以上の人が三々五々訪れ、コロナの終息と無病息災を祈りました。

**令和2年度の広報は私たちが担当しました。**

1ブロック 山根 健司 2ブロック 山田 稔 3ブロック 中井 正範

4ブロック 谷本 勉 5ブロック 下野 輝美 6ブロック 松布 恵三

* 広報誌についての要望や寄稿に関する情報の提供をお願いします。

* 広報誌作成に興味のある方は社協事務所(TEL876-2366…月・水・金の午前中)へご連絡ください。